

日中サービス支援型共同生活援助 報告書

基本情報	1	事業者名	株式会社 ふくい福祉振興会
	2	事業者所在地	福井市和田東1-2323
	3	住居名	モストヴィレッジ和田
	4	住居所在地	福井市和田東1-203
	5	(共同生活援助)定員・主たる対象者	【定員】 共同生活住居①(モストヴィレッジ和田A) 9名 共同生活住居②(モストヴィレッジ和田B) 10名 【主たる対象者】 精神、身体、知的、発達または難病の重度の障がい者。
	6	(短期入所)定員・主たる対象者	【定員】 1名 【主たる対象者】 身体、知的、発達または難病の障がい者
	7	利用者の障害支援区分(R5年2月3日時点)	19人(区分6: 1人、区分5: 9人、区分4: 9人)
	8	利用者の年齢(R5年2月1日時点)	20代-2名 30代-2名 40代-8名 50代-3名 60代-4名 平均41歳
	9	日中の過ごし方	【AM】 起床、朝食、整容、着替え、おやつ、水分補給、昼食、服薬、トイレ誘導・介助 個別機能訓練、個別活動、集団レクリエーション(誕生日会、クリスマス会、新年会等) 【PM】 外出(買い物支援・公園等)、入浴(介助有)、おやつ、水分補給、夕食、服薬、歯磨き、着替え、トイレ誘導・介助、余暇時間、就寝
	10	短期入所受入状況 (緊急一時的な支援等)	月2～3名程度の利用者がいる。 ※新型コロナウイルス感染症拡大状況に伴い、利用中止になることもある。
実施方針・方法について	11	日中の支援方法 (日中をGH内で過ごす利用者に対する支援) ※標準的なウィークリープラン	※別紙参照
	12	地域生活の支援 (地域住民との交流の機会を確保する工夫、 外出支援に対する考え)	・外出、外食、買い物支援(成和グラウンド、和田東公園、ゲンキー、東部ハニー、美容・理髪店、本屋、しまむら等)の実施。 ・外出先には、人ごみを避けた屋外への外出活動を行っている(花見、ゆりの里公園、コスモス園等)。 ・近隣中学校からの生徒を職業体験等の受け入れ。 ・自治会等の奉仕活動への参加(清掃活動等)、小学校長期休暇時に地域のラジオ体操に参加し地域住民や子供達との交流ができるとうと考えている。現在はコロナウイルス感染症対策の為、なかなか実現できていない。
	13	指定計画相談との連携 (モニタリングの実施方法)	モニタリング時期は各利用者によって異なるが、担当相談員が1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月毎にGH訪問し実施し、利用者の日常生活状況や状態を確認し、入居者の支援を整えている。
	14	利用者の健康管理方法 (医療機関との連携、医師や看護師の訪問の有無、日々の健康チェック方法等)	・看護師のもと日々のバイタルサインの測定、体重測定・水中毒による体重管理、健康観察、状態観察を行い健康記録を記入し身体管理を行っている。 ・訪問看護が必要な利用者の訪問看護利用。 ・医療提携機関との連携、利用者の定期通院、リハビリや検査等の同行、緊急時の受診同行。 ・通常の服薬管理に加え、特殊薬剤クロザリル向精神治療薬の服薬入居者の状態管理と服薬管理。 ・新型コロナウイルスやその他の感染症対策の徹底。
	15	食事について (栄養士の有無、食事の提供方法等)	・専門業者からの調理済みの湯煎式食材の提供。 ・栄養バランスを考えた食事内容の提供。

実施方針・方法について	16	利用者の重度化・高齢化に対応するための従業員の質の確保のための取組(研修等)	<ul style="list-style-type: none"> ・強度行動障害に対する支援研修の参加、実習。 ・介護支援の実施研修の参加。 ・虐待防止に関する研修参加。 ・疾患の理解と治療に関する内部研修。 ・看護職研修、AED取り扱い研修、誤嚥・窒息時の対応の内部研修。 ・緊急時に対する対応研修。
	17	その他運営の特色や工夫等	<p>【設備面での障害特性等への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手すり、スロープなどのバリアフリー設備。 ・エレベーターの配置、離設防止のためのオートロック式扉の配置。 ・強化ガラスの使用、転落防止窓の設置。 <p>【運営面での特色等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画に基づき支援を受けながら自立できる日常生活範囲を増やし、個性を大切にしながら地域での暮らしを大切にしている。 ・24時間支援体制を行い、緊急時の対応も看護師中心で行っている。 ・災害時や緊急時の短期入所の受け入れ、虐待防止委員会の設置と運営。 ・看護師が常駐し、医療的ケアが常時必要な利用者の受け入れ体制確保。
昨年いただいたご意見に対する対応	18	日中の過ごし方について個別的な部分(障がい種別による対応の違いなど)の説明がほしい。また、国が想定している利用者の年齢層より広いように感じる。特に20代、30代の方に対してはここが終の住処にならないよう次のステップの部分についても考えていただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・個性性を考えた支援としては、個々の要望などに沿いながら日常生活が充実出来るよう支援している。 ・現在の活動の中で就業体験など作業的な内容も取り入れながら個々の能力向上に繋げている。 ・排せつ等に関しては、トイレ内で排せつが出来るよう個々の能力に応じて、排せつ訓練を行っている。
	19	個別支援の部分で、支援員との個別の面談を行っているのか教えてほしい。	個別支援においては、現場の生活支援員に対して入居者の受け持ちを持ってもらい、個別に面談→支援計画の内容を作成・確認し、生活支援等に繋げている。
	20	自立支援協議会の中で質問をできなかったのですが、職員の人数、勤務体制(夜勤、早出遅出などの時差勤)についても次回は報告をお願いしたい。	<p>職員人数:管理者兼サービス管理責任者(看護師)1名、准看護師1名、生活支援員6名、世話人7名の計15名</p> <p>日勤8:00~17:00、早出7:00~16:00、遅出9:30~18:30、夜勤16:00~9:00(夜勤者2名)</p> <p>以上の勤務体制になっている。</p>
	21	高齢化による日中活動に参加できなくなっている方の支援、入浴支援や食事などの個別支援に関して、きめ細やかな支援をお願いしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、65才以上の方が1名入居されていますが、ご本人の咀嚼、嚥下状態に応じて食事形態を考えたり、食事摂取の付き添いなど細かい配慮を行っています。また日中活動の参加においては、身体状態を観察しながら無理のない程度にて参加して頂いている。 ・入浴に関しては一人ずつ入浴して頂き、必ずスタッフが付き添い見守りを行う様にし、安全に支援している。
	22	地域移行に関しての取り組みが見えてこなかった。	外部への日中活動の場の提供や日常生活能力の向上を目指していけるように働きかけていきたい。
	23	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の際に、個人の嗜好調査をしているのかも教えてほしい。 ・食事について湯煎式食材の提供だけでなく、たまには自分たちで調理してみたり、地域の社会資源である飲食店等で外食する機会をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個人の嗜好に合わせた味付けの工夫、食事形態を嚥下能力に合わせて手を加えるなどの配慮。 ・月1回、職員がカレー作り等を行い「なかよし食事会」を開催している。また、入居者と共にお菓子作り体験を開催している。 ・外食に関しては、グループ分けを行い、入居者個々の経済状態を考慮しながら外食を行っている。

昨年いただいたご意見に対する対応	24	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の際に、個人の嗜好調査をしているのかも教えてほしい。 ・食事について湯煎式食材の提供だけでなく、たまには自分たちで調理してみたり、地域の社会資源である飲食店等で外食する機会をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個人の嗜好に合わせた味付けの工夫、食事形態を嚥下能力に合わせて手を加えるなどの配慮。 ・月1回、職員がカレー作り等を行い「なかよし食事会」を開催している。また、入居者と共にお菓子作り体験を開催している。 ・外食に関しては、グループ分けを行い、入居者個々の経済状態を考慮しながら外食を行っている。
	25	ボランティアの受け入れについて地域との交流を深める意味でも、ボランティアの受け入れは重要です。その受け入れ担当者の有無はいかがでしょうか。また有の場合、受け入れに関する研修会にも参加し、コーディネーションの手法を身につけて、地域との交流の幅を広げてほしいです。	現在、ボランティアの受け入れ体制が薄い為、ボランティア活動を要請できる仕組みなどを助言して頂けると幸いです。
	26	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援専門員がGH訪問していることに対しどのように連携しているのか。 ・利用者ごとに違うモニタリングはサービス等利用計画のモニタリングであると思いますが、個別支援計画のモニタリングも同時期に設定しているのか。 	GHにおいて、各担当の相談支援専門員とのモニタリングと並行して入居者の個別支援計画の見直し等を行っている。➡報告書13
	27	研修を受けることが支援の質の向上ではないと考えられるが、研修受講した内容をどう事業所で共有し、どう支援に落とし込んだか、その効果をどのように確認しているのか。	各研修に関しては、現場においてミーティング形式等でスタッフへの指導、実施などを行っている。➡報告書16
	28	日中サービス支援型共同生活援助のサービス内容として在宅で生活する方の緊急一時的な宿泊の場の提供といった面がありますが、令和3年度までの地域生活支援拠点(拠点整備型)との連携についての実績や工夫、令和4年度以降(面的整備型)の連携等についてどのように住み分けたり協力体制を敷いていくのか、考えを知りたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、地域生活支援拠点への登録手続きを勧めている。 ・地域連携を図り、様々な緊急時の短期入居の受け入れを担うGH拠点として体制づくりを行っていきたい。
	29	コロナウイルス感染拡大の世の情勢であるから工夫されていることを教えてほしい。	基本的な感染対策を主に食事時間をずらして摂取して頂いたり、密になる空間や時間を極力減らすように行っている。
	30	ご入居の方々の生活歴や趣味嗜好を加味した上で、季節感などを味わえる活動を企画運営していただけると良いのではないかと考えます。	季節ごとのイベントや誕生会、カラオケや映画鑑賞、園芸、女性ではお化粧品体験や編み物など集団や個々に合わせて活動の企画運営を行っている。

サービス等利用計画案 週間計画表

利用者氏名	N氏	障害支援区分	区分5
-------	----	--------	-----

◎週間計画表

	月	火	水	木	金	土	日	週単位以外のサービス
5:00							外泊	●散歩 ●ドライブ ●買い物同行 ●レクリエーション活動(季節のイベント・お菓子作りなど)
6:00								
7:00	起床 更衣声掛け	起床 更衣声掛け	起床 更衣声掛け	起床 更衣声掛け	起床 更衣声掛け	起床 更衣声掛け		
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食		
9:00	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援		
	部屋、リビングでパズルなど	部屋、リビングでパズルなど	部屋、リビングでパズルなど	部屋、リビングでパズルなど	生活介護 声掛け・準備	帰省 声掛け・準備		
10:00	活動声掛け(指示カード使用)	活動声掛け(指示カード使用)	活動声掛け(指示カード使用)	活動声掛け(指示カード使用)	職員送迎にて生活介護へ出掛ける	母親の迎えにより帰省		
11:00	体操・歌 おやつ 集団活動	体操・歌 おやつ 集団活動	体操・歌 おやつ 集団活動	体操・歌 おやつ 集団活動		外泊		
12:00	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)				
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食				
14:00	服薬・口腔ケア支援 部屋で臥床、リビングでパズルなど	服薬・口腔ケア支援 入浴声掛け(指示カード使用)	服薬・口腔ケア支援 部屋で臥床、リビングでパズルなど	服薬・口腔ケア支援 入浴声掛け(指示カード使用)				
15:00	活動声掛け(指示カード使用) おやつ	入浴 活動声掛け(指示カード)おやつ	活動声掛け(指示カード使用) おやつ	入浴 活動声掛け(指示カード)おやつ				
16:00	個別活動 自立課題	個別活動 仕事体験	個別活動 自立課題	個別活動 仕事体験			↓ 帰所	
17:00	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)	食事 声掛け(カード使用)		食事 声掛け(カード使用)	
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食		夕食	
19:00	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援	服薬・口腔ケア支援		服薬・口腔ケア支援	
20:00	着替え声掛け	着替え声掛け	着替え声掛け	着替え声掛け	着替え声掛け		着替え声掛け	
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝		就寝	
21:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回		巡回	
22:00								
23:00								
0:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回		巡回	
1:00								
2:00								
3:00	巡回	巡回	巡回	巡回	巡回		巡回	
4:00						↓		

【 日中活動の様子 】

● 散歩



● 買い物



● 季節に応じたイベントなど

○ 花見



○ セタ



日中サービス支援型共同生活援助 評価シート

実施内容の評価		
評価項目	日中の支援方法	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	地域生活の支援	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	指定計画相談との連携	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	利用者の健康管理方法	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	食事について	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	利用者の重度化・高齢化に対応するための 従業者の質の確保のための取組(研修等)	大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
	その他運営の特色や工夫等	(設備面での障害特性等への配慮) 大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分
(運営面での特色等) 大変良い ・ 良い ・ 普通 ・ やや不十分 ・ かなり不十分		
自由記載		

※FAXまたはメールにてご提出をお願いします。

FAX:0776-20-5407
メール:sfukusi@city.fukui.lg.jp